

みずほマーケット・トピック (2019 年 4 月 26 日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。本日発行の『中期為替相場見通し』をご参照くださいませ。

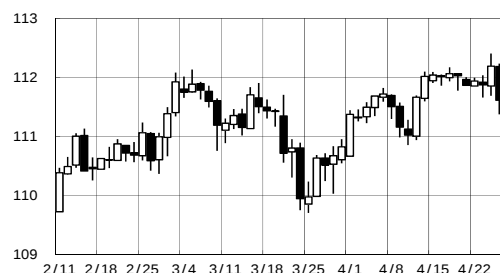
1. 為替相場の動向 (関連レポート: 「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は年初来高値を更新した。週初 22 日に 111 円台後半でオープンしたドル/円は、イースター休暇で取引参加者が少ない中で先週金曜日の流れを引き継ぎ 112 円手前の狭いレンジ内で推移した。23 日は高く寄り付いた日経平均株価がマイナスに転じたことが嫌気されたほか、本邦輸出企業の売りが強まったことを受けて 111 円台半ばまで下落。その後は、日経平均株価がプラス圏に回復する動きを受け 112 円手前まで戻し、加えてユーロ/ドルやボンド/ドルが売られる動きに 112 円台に乗せる場面も見られた。しかし、この水準では売り意欲もあり 111 円台後半まで押し戻された。24 日は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、米金利の低下を横目に再度 111 円台半ばまで値を下げたが、一部新興国通貨やユーロに対するドルの買いにサポートされ反発。ユーロやボンドに対するドル買いが加速すると 112 円台を回復し、先週 17 日につけた年初来高値(112.17 円)を上抜けるとストップを巻き込みながら 112.40 円まで上値を伸ばした。買い一巡後は 112 円台前半まで反落し、25 日は本邦輸出企業の売りや中国株の軟調推移に圧迫され 111 円台後半まで続落。NY ダウ平均が一時 280 ドル超下落する動きに週安値となる 111.37 円まで値を下げた。本日のドル/円は 111 円台半ばで推移している。
- 今週のユーロ/ドル相場は年初来安値を更新した。週初 22 日に 1.12 台半ばでオープンしたユーロ/ドルはイースター休暇で主要欧州市場が休場の中、レンジ内で推移し一時週高値となる 1.1262 をつけた。23 日はドル買いが優勢となり 1.12 台前半まで下落し、その後やや戻す場面も見られたが、先週のユーロ圏製造業 PMI が弱かったことやイタリア財政問題への懸念がくすぶる中で 1.12 を下抜けた。24 日は独 4 月 Ifo 企業景況指数が予想を下回ったことや独 10 年債利回りがマイナスに沈んだこと、ユーロ圏の景気減速への懸念が引き続き意識され 1.11 台前半まで続落した。25 日は欧州の主要株式市場が軒並み下落する中、ユーロ売りが先行し、2017 年 5 月 30 日以来の安値となる 1.1118 をつけたが、発表された米新規失業保険申請件数が予想より悪化するとユーロのショートカバーが優勢となり 1.11 台半ばまで反発した。本日のユーロ/ドルは 1.11 台前半で推移している。

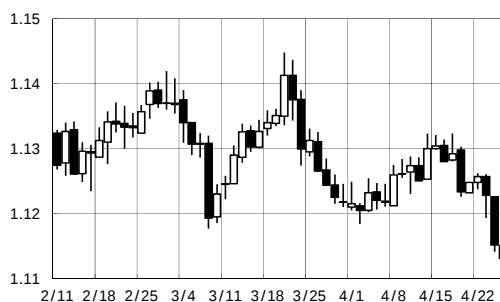
今週のおもな金融市場動向 (出所: ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		4/19(Fri)	4/22(Mon)	4/23(Tue)	4/24(Wed)	4/25(Thu)
ドル/円	東京9:00	111.99	111.92	111.93	111.88	112.13
	High	112.01	111.99	112.03	112.40	112.24
	Low	111.86	111.85	111.65	111.68	111.37
	NY 17:00	111.86	111.94	111.87	112.19	111.61
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1235	1.1245	1.1259	1.1224	1.1154
	High	1.1248	1.1262	1.1261	1.1226	1.1162
	Low	1.1229	1.1236	1.1192	1.1141	1.1118
	NY 17:00	1.1248	1.1257	1.1228	1.1152	1.1131
ユーロ/円	東京9:00	125.82	125.83	126.02	125.57	125.16
	High	125.88	126.06	126.05	125.59	125.22
	Low	125.73	125.77	125.28	124.81	124.21
	NY 17:00	125.85	126.02	125.60	125.11	124.35
日経平均株価		22,200.56	22,217.90	22,259.74	22,200.00	22,307.58
TOPIX		1,616.93	1,618.62	1,622.97	1,612.05	1,620.28
NYダウ工業株30種平均		-	26,511.05	26,656.39	26,597.05	26,462.08
NASDAQ		-	8,015.27	8,120.82	8,102.02	8,118.68
日本10年債		-0.03%	-0.03%	-0.03%	-0.04%	-0.03%
米国10年債		-	2.59%	2.57%	2.52%	2.53%
原油価格(WTI)		-	65.55	65.84	65.89	65.77
金(NY)		-	1,277.60	1,277.10	1,279.40	1,276.90

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・米国では、4月30日～5月1日にFOMCが開催される。前回会合(3月19～20日開催)では、FF金利誘導目標を2.25～2.50%に据え置くことを全会一致で決定。声明文における景気認識や、FOMCメンバーの政策金利見通し(ドットチャート)が大幅に下方修正され、2017年10月以降に進めてきたバランスシート縮小については今年5月からそのペースを減速し9月で終了すると決定した。4月10日に公表された議事要旨では、「FF金利誘導目標レンジを年内据え置くことが正当化される公算が大きい」と過半数の参加者が予想」とされており、当面政策金利に動きはないとみられる。その分、今後はバランスシート政策の運営方針(保有証券の構成や再拡大の時期等)の行方が注目されよう。ちなみに、NY連銀が3月前半に集計した市場サーベイによれば、バランスシート再拡大時期についての回答(中央値)は、市場参加者が2020年10～12月期、プライムディーラーは2020年7～9月期であった。
- ・また、経済指標では、5月3日(金)に4月雇用統計が発表される。非農業部門雇用者の増加数の市場予想は前月比+18.1万人と前月(同+19.6万人)からやや減速、失業率は3.8%と前月比横ばいが予想されている。依然、タイトな労働市場環境は継続しているとみられる。失業保険の継続受給者数も3月以降減少、新規失業保険申請件数(4週移動平均)は4月後半に底打ちした可能性はあるものの1969年12月以来の低水準にとどまる。こうしたなか、平均時給は前年比+3.3%と前月(同+3.2%)から小幅に上昇するとみられている。週平均労働時間は34.5時間、労働参加率は63.0%といずれも前月比横ばいが予想されている。
- ・欧州では、28日(日)にスペインで総選挙が行われる。世論調査によれば、現首相率いる社会労働党が第一党を維持も単独過半数には至らない見通し。どのような連立政権が誕生するか不透明な状況である。極右政党ボックスや極左政党ポデモスといったEU懐疑派がどこまで議席数を伸ばすかが注目される。5月の欧州議会選挙を控えて、EUの求心力低下が懸念される結果となれば、金融市場で不安視されそうだ。

	本 邦	海 外
4月26日(金)		・米1～3月期GDP(速報) ・米3月シガン大学消費者マインド指数(確報)
29日(月)	休場(昭和の日)	・米3月個人消費支出
30日(火)	休場(国民の休日)	・ユーロ圏3月失業率 ・ユーロ圏1～3月期GDP(速報) ・米1～3月期雇用コスト指数 ・米4月シカゴ購買部協会景気指数 ・米4月カンファレンスボード消費者信頼感指数
5月1日(水)	・4月製造業PMI(確) 休場(改元記念日)	・米4月ADP雇用統計 ・米4月製造業PMI(確報) ・米4月ISM製造業景気指数 ・米3月建設支出 ・米4月自動車販売
2日(木)	休場(国民の休日)	・ユーロ圏4月製造業PMI(確報) ・独4月製造業PMI(確報) ・米1～3月期労働生産性 ・米3月耐久財受注(速報)
3日(金)	休場(憲法記念日)	・ユーロ圏4月消費者物価(速報) ・米3月卸売在庫(速報) ・米3月雇用統計 ・米4月サービス業PMI(確報) ・米3月ISM非製造業景気指数

【当面の主要行事日程(2019年4月～)】

ECB政策理事会(6月6日、7月25日、9月12日)

日銀金融政策決定会合(6月14～15日、7月29～30日、9月18～19日)

米FOMC(6月18～19日、7月30～31日、9月17～18日)

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)

daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2019年4月24日	薄氷のドル高相場～賭けるべき「次の一手」は～
2019年4月23日	10連休を契機に考える休日増加の功罪
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年3月分)
2019年4月22日	円安リスクの点検～年後半は「米国 vs. 欧中」～
2019年4月19日	週末版(ユーロ圏PMIを受けて～「底打ち」しても正常化は別の話～)
2019年4月18日	ドル高を容認できない中国の経常収支
2019年4月17日	相次ぐECBの「次の一手」に関するヒント
2019年4月16日	「改善の極み」を指摘したIMF～循環的なピーク～
2019年4月15日	ECB政策理事会～階層化とTLTRO3の取り扱い～
2019年4月12日	週末版(やはり直面した「欧州らしい結末」～臨時EU首脳会議を受けて～)
2019年4月10日	IMF世界経済見通し～「副題」で見る世界経済の変遷～
2019年4月9日	円相場の基礎的需給環境～「均衡」がもたらすレンジ～
2019年4月8日	ブレグジット情勢を巡るQ&A～臨時首脳会議を前に～
2019年4月5日	週末版(ドイツがけん引するユーロ圏の減速～大崩れしたドイツ製造業受注～)
2019年4月4日	外貨準備構成通貨の現状(18年12月末)
2019年4月3日	ECBはマイナス金利を階層化するのか？
2019年4月2日	円高を阻む経常収支構造の変化
2019年4月1日	「恵まれた為替環境」を再確認した内閣府調査
2019年3月29日	週末版
2019年3月26日	円安リスクの点検～敢えて考える円安リスク～
2019年3月25日	「自分の尾を追う犬」となったFRBと景気後退の考え方
2019年3月22日	週末版(コミュニケーションが荒れ始めたFRB～本末転倒感の拭えないドットチャート～)
2019年3月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年2月分)
2019年3月18日	「ユーロ圏の日本化」の正しい読み方
2019年3月15日	週末版(ブレグジット交渉、当面の読み方～人質戦略は奏功するのか？～)
2019年3月14日	「地方の南欧化」を想起させる業種別一律最低賃金
2019年3月13日	ブレグジット、「2度目の否決」と「新たな期限」
2019年3月12日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2019年1月分)
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年12月分)
2019年3月8日	週末版(ECB政策理事会を終えて～ドラギ総裁は1度も利上げできずに退任へ～)
2019年3月5日	米金利上昇&ドル高を阻む「ドル化した世界」
2019年3月4日	大統領のドル高けん制～不安な「相手国が悪い」という理屈～
2019年3月1日	週末版(金融政策格差に落ち着いた年初の2か月間～互いに「住む世界が違う」様相～)
2019年2月27日	米中貿易協議再延期を受けて～現状と展望の整理～
2019年2月25日	円安リスクの点検～想定外の米経済堅調が招く円安～
2019年2月22日	週末版
2019年2月21日	FOMC議事要旨～「patient」の舞台裏～
2019年2月20日	自動車関税を前に考える日欧の立ち位置
2019年2月18日	停滞する日米欧中銀への期待と為替相場
2019年2月15日	週末版(米小売売上高ショックをどう読むか？～懸念される逆資産効果～)
2019年2月14日	看過できない仏伊関係の悪化～大戦以来の大使召還～
2019年2月13日	ドル/円相場は新常态にあるのか？
2019年2月12日	変わりそうにない対外直接投資の潮流
2019年2月8日	週末版(2018年の円相場の基礎的需給環境～対外証券投資への期待は難しそうな2019年～)
2019年2月7日	次期ECB総裁レースの現状整理
2019年2月6日	バイマン独連銀総裁も認める景気減速の現状
2019年2月5日	ブレグジット交渉を巡るQ&A～今一度行う現状整理～
2019年2月1日	週末版
2019年1月31日	FOMCを受けて～正常化プロセスの終了～
2019年1月29日	「株価ファースト」という誤解を招きかねないB/S縮小戦略
2019年1月28日	円安リスクの点検～円高のメインシナリオを揺るがすもの～
2019年1月25日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「年内利上げ無し」を暗に認めたドラギ総裁～)
2019年1月24日	日銀金融政策決定会合を受けて～「願望」すら難しい状況に～
2019年1月22日	堅調なユーロ相場の背景にある欧州の減速
2019年1月21日	対米貿易黒字ゼロ計画について～マッチポンプは終わらず～
2019年1月18日	週末版(正常化どころではないECBを取り巻く近況～市場のメインシナリオは転換済み～)
2019年1月17日	英国情勢の論点整理～「壮大な茶番劇」に終わるか～
2019年1月11日	週末版
2019年1月8日	財界トップの相場観と静か過ぎる「波」
2019年1月7日	「バブルは崩れてからがバブル」という考え方について
2019年1月4日	波乱の幕開けの読み方～猪突猛進の円高スタート～
2018年12月27日	3つの論点で要約する19年見通し
2018年12月25日	FRB議長解任騒動について～真正正銘のリスクオフを前に～
2018年12月21日	週末版(FOMCを終えて～新局面への第一歩、為替への影響は～)
2018年12月19日	FOMCを前に読みたい白川元日銀総裁インタビュー
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年11月分)
2018年12月17日	2019年、日米欧のテールリスクはどこにあるのか？
2018年12月14日	週末版(ECB政策理事会を終えて～「高まる警戒」と「続く自信」～)
2018年12月12日	2019年、世界経済の勘所～利上げの真価が現れる年～
2018年12月11日	ECB政策理事会プレビュー～再投資方針の行方～
2018年12月10日	動き出した「メルケル後」のドイツそしてEU
2018年12月7日	週末版
2018年12月5日	遂に発生した逆イールド～金利に追従する株価～
2018年12月4日	パリ暴動の読み方～2つの懸念～
2018年12月3日	米中首脳会談～2020年まで続きそうな「壮大なマッチポンプ」～
2018年11月30日	週末版
2018年11月28日	メインシナリオへのリスク点検～FRBは来年こそ変わる～
2018年11月27日	続・「安全資産としての円買い」が勢いづかない理由
2018年11月26日	ECB政策理事会議事要旨～TLTRO3の行方～
2018年11月22日	週末版(制裁手続き着手を表明した欧州委員会～イタリアにとっては辛いポリシーミックス～)
2018年11月21日	ノーディールを視野に入れ始めたボンド相場
2018年11月20日	ユーロ圏を巡る資本フローとユーロ相場について
2018年11月19日	イタリア政局を巡る現状と展望～制裁が視野に～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2018年10月分)
2018年11月16日	週末版
2018年11月15日	メイ首相、最後の戦いへ～「外」から「内」へ～
2018年11月14日	ドル/円相場、現水準をどう理解すべきか
2018年11月13日	四面楚歌のユーロ相場～「5つの不安」～
2018年11月12日	円相場の基礎的需給環境の現状と展望
2018年11月9日	週末版(米中間選挙の見通しへの影響～不透明感後退も見通し大勢に影響なし～)
2018年11月8日	メンツを賭けた「7.0防衛」の危うさ～外準減少を受けて～